

古代出雲王陵の丘

日本国内は3世紀後半ごろヤマト政権を中心に九州から東北地方までがまとまります。その証が格付けされた巨大な墓＝古墳です。弥生時代には四隅突出型墳丘墓など強い地域性をもっていた荒島地域の豪族は、古墳時代においてもこの地域の盟主として中海を見下ろす丘陵上に大型の古墳を絶えることなく築いています。500年間にわたる王墓の系譜をこの地域の中に見ることができます。

西暦	年代	主な出来事	大型墳墓築造時期
2000年	弥生時代	後漢書によればこの頃倭国大いに乱れる	
		四隅突出型墳丘墓が造られ始める	仲仙寺9・10号墓
		邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを送る	宮山4号墓 塩津山10号墓
3000年	古墳時代	前方後円墳の出現	大成古墳
		畿内を中心に東北地方から九州地方まで政治的にまとまる	造山1号墳 造山3号墳
			清水山1号墳 宮山1号墳
4000年	古墳時代	倭の五王が宋に使いを出す	造山2号墳 仏山古墳
			塩津神社古墳 若塚古墳
5000年	飛鳥時代	仏教が伝わる	
		聖徳太子が摂政となる	
		法隆寺 建立	
6000年	飛鳥時代	乙巳の変(大化の改新)	
		壬申の乱	
		平城京に遷都	○中山墳墓



造山公園



塩津山公園



仲仙寺公園



宮山公園

